2016年度 社会学部 秋学期授業内試験 時間割 (語学・他学部主催科目は除く)

【受験上の注意】

試験日	曜日	時限	科目名	教員氏名	時間	試験教室	対象
1月10日	火	1	行政法Ⅱ	長谷部 俊治	60分	社会201	全
			金融システム論	田口 博雄	60分	社会302	全
		•	社会∙地歴科教育法	石出 法太	60分	社会102	全
			国際経営論Ⅱ	公文 溥	60分	社会202	全
		2	(= t, , , , , = = A	1-14	60分	社会102	2年(全)
			編集出版論	坂巻 克巳	60分	社会302	3年・4年(全)
		3	図書館情報学概論Ⅱ	田村 貴紀	60分	多総合-情実習1	全
		4	メディア論/映像ジャーナリズム論 Ⅱ	足立 義則	60分	B301	全
1月11日	水		都市政策論	長谷部 俊治	60分	B202	全
			社会保障法Ⅱ	長沼 建一郎	60分	B201	全
		1	歴史社会学Ⅱ	鈴木 智道	60分	B301	全
			国研:開発とジェンダー	吉村 真子	60分	社会202	全
		2	社会学理論BⅡ	池田 寛二	60分	B301	全
			自然科学特講(数学)	鈴木 麻美	90分	多研実-地学	全
		3	自然科学特講(地学)	澤柿 教伸	60分	社会304	全
			図書館サービス概論	岡谷 大	60分	社会304	全
		4	統計学Ⅱ	鈴木 麻美	90分	社会301	全
			外書講読(英語)2-Ⅱ	水野 節夫	60分	社会402	全
		5	図書館情報資源特論	岡谷 大	60分	社会304	全
			教育方法論	酒井 英光	60分	社会102	全
1月13日	金	2	特講(中国の教育事情Ⅱ)	趙 衛国	60分	社会302	全
			国際関係論Ⅱ	二村 まどか	60分	社会202	全
			—————————————————————————————————————	上田 紋佳	60分	社会301	全
		3	文化表象論	髙橋 愛	60分	社会201	2年・3年(全)
						社会303	4年(全)
					60分	社会301	社会学部(全)
			教育心理学	上田 紋佳		社会302	他学部(全)
1月16日	月	1	身体論	矢田部 英正	60分	B301	社会・メ社・他学部(全)
						社会201	政策(全)
			社会調査Ⅱ	堀川 三郎	60分	社会501	全
			福祉社会学Ⅱ	堅田 香緒里	60分	B201	全
			- + 47 ht = A	四口 堵#	201	社会302	3年・4年(全)
			日本経済論	田口博雄	60分	社会503	2年(全)
			₩ ↔ +□=₩	77 T T T T T T T T T T T T T T T T T T	60分	社会102	他学部(全)
			教育相談	沼田 あや子		社会405	社会学部(全)
			環境自治体論	白井 信雄	60分	社会102	全
			公共性とCommunication II	鈴木 宗徳	60分	社会202	全
		2	情報・メディア関係法Ⅱ/情報・マスコミ関係法Ⅱ	白田 秀彰	60分	社会201	全
			広告・PR論	青木 貞茂	60分	B301	全
			中小企業政策論	糸久 正人	60分	B201	全
		3	外書講読(英語)3-Ⅱ	公文 溥	60分	社会712	全
		5	社会計画論Ⅱ	湯浅 陽一	60分	B201	全
			産業社会学Ⅱ		40分	B301	3年・4年(全)
			压未™五于 ^Ⅱ		<u>4</u> Uカ	社会102	2年(全)
			基礎数学Ⅱ	鈴木 麻美	90分	社会303	全
			ウェブ・ジャーナリズム論/情報と民主主義	藤代 裕之	60分	社会201	全
1月19日	木	1	社会政策科学入門B	北浦 康嗣	60分	社会302	全
		'	ウェブ・メディア論 II / Cultural Studies	平井 智尚	60分	B301	全
		2	社会学入門A	佐藤 成基	60分	社会201	全
			哲学Ⅱ	大橋 基	60分	社会301	社会・メ社(全)
			<u>п</u> т ш	八個 垄	3071	社会302	政策・他学部(全)
		4	環境社会学Ⅱ	池田 寛二	60分	B201	社会(全)
						社会201	メ社(全)
						社会202	政策(全)
						社会304	他学部(全)
		5	国際社会と日本	愼 蒼宇	60分	B301	全
		5	社会学総合特講 I /社会科学の方法 I	多喜 弘文	※ 1	社会302	全

1. 受験に際しては、学生証を必ず机上に提示すること。 2. 不正行為は絶対にしないこと。 ■ 社会学部は試験時の不正行為に対して厳正な措置を講ずる。 3. 試験中は、スマートフォン・携帯電話・PHS・タブレット等、全ての電子 機器の使用を禁止する(スマートウォッチを含む)。それらは試験開始前 に電源を切ってカバンにしまうこと。受験の際は、「時計」(腕時計等)を用 意すること。 4. 今年度履修している科目に限り受験を認める(履修登録科目確認通 知書で確認し、受験すること)。 15. 試験時間割表は一部通常の時限・教室に変更がある。試験日程・試 験教室はすべて、この試験時間割表に従って行われるので十分注意して 受験すること。 16. 同一科目で受験教室が複数ある場合, 学部・学科・学年別等で指定さ れた教室で受験すること。 7. 試験期間中はバスの混雑が予想されるので, 遅刻しないよう余裕を i持って早めに登校すること。 8. 時間割表は、コース・プログラム名は省略している。 9. その他受験上の注意は監督者及び掲示の指示に従うこと。 【他学部主催科目について】 他学部主催の科目については、原則この試験時間割表には含まれてい ない。各学部掲示板・または各学部窓口で必ず確認すること。「受験上の ■注意」も各学部でルールが異なるので、事前に各学部掲示板・各学部窓 口で必ず確認すること。 【秋学期追試験について】 秋学期試験実施科目をやむをえない事情で受験できなかった場合, 以 下の要領で追試験を行う。受験を希望する場合は、内容を確認し、社会 i学部事務課まで申請すること。 ▶日時 2017年2月 3日(金)9:45集合 **▲**試験会場 ▮ 社201教室 ◆申請受付期間 【 2017年1月24日(火)∼1月30日(月)【厳守】 ※「多摩地域形成論 I 」のみ2月1日(水)まで受付(9~17時まで【厳 l 守】) ◆申請受付場所·時間 ■ 社会学部事務課窓口<月~金:9~17時(厳守)> ▶注意事項 (1)事情を証明する書類(診断書等)が申請に必要です。 (2)経済学部合併科目・公開科目,現代福祉学部合併科目・公開科目の ■申請については,追試験の有無を各学部事務課で確認した上で,社会学 部事務課で手続きを行ってください。 (3)市ヶ谷キャンパス公開科目については、各学部でルールが異なりま ■す。市ヶ谷キャンパス各学部担当窓口で追試験の有無を確認し、各学部 の指示に従って社会学部事務課で申請を行ってください(追試験は市ヶ 谷キャンパスで実施)。 Ⅰ(4)追試験当日受験できない場合は、未受験となります(追試の追試は **ありません)。** (5)追試験は、試験日当日に全科目を実施します。 「(6)追試験を行う科目は「授業内試験」「定期試験」のみです。論文試験 の科目は追試験を行いません(論文は定められた提出期間内に提出して ください) 【秋学期修了科目の成績発表について】 秋学期修了科目の成績発表・成績照会を以下の日程で行います。 |詳細は社会学部掲示板に掲示の「進級・卒業発表について」を必ず確認| してください。 なお、「成績通知書」の窓口での配付は行いません。また、成績に関す る電話でのお問い合わせには一切応じられません。 **▲** 成績発表日時 【3·4年】2017年3月 1日(水)10時開始(予定) 【1.2年】2017年3月 1日(水)14時開始(予定) 【秋学期修了科目の成績照会について】 秋学期修了科目のうち、受験した科目が「E」評価及び「D」評価の場合 のみ、成績照会を受け付けます。成績照会の申請は必ず本人が社会学 ■部事務課窓口で行ってください。電話・郵送・代理人などでの申請は一切 受付けません。また、下記申請期間を過ぎた場合にも、一切受付けませ ん。別途掲示も必ず参照してください。 **■**◆申請受付期間 2017年3月 1日(水)~3月 7日(火) ◆申請受付場所 時間 社会学部事務課窓口<月~金:9~17時, 土:9~12時(厳守)> ▶注意事項 ※「D」評価については、担当教員の成績記載ミスの有無についてのみ確 認をします(答案の内容について再評価は行いません)。 【※「A+」~「C」評価については、成績照会を一切受付けません。 ※他学部の公開科目については、各学部でルールが異なります。各学部 担当窓口で成績照会を受け付けているかを確認したうえ, 社会学部事務 ■課で手続きを行ってください。 【学位授与式について】 学位授与式は、2017年3月24日(金)午前9時45分から日本武道館に Iて実施します。 『詳細は, 卒業発表の3月1日(水)以降, 法政大学HPの[在学生の方へ] →[社会学部]→[最新情報]に卒業生の皆さんへの連絡という形で掲載し iます。 【新年度ガイダンス日程について】 3月1日(水)以降, 法政大学HPの[在学生の方へ]→[社会学部]→[最新 【情報】に在学生の皆さんへの連絡という形で掲載します。 ガイダンス日程や健康診断,演習1の説明・選考会の予定,各種実習・抽 選科目のガイダンスや手続きなど、重要な内容ですので、必ず確認をして Iください。

※1 試験時間は教員に確認すること